

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	畑山 理馨子 先生（打楽器の達人）
実施校	瀬戸市立西陵小学校
実施日	平成20年10月22日（水曜日）
実施学級	2年全クラス（112人）
授業の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 学年主任による達人の紹介。打楽器の達人であることを話す。 2 達人の演奏を聴く。 「シンコペーテット クロック」をCDに合わせ、打楽器で演奏する。 「タイプライター」をCDに合わせ、タイプライターで演奏する。 3 紙ヤスリで演奏をする。 紙ヤスリの演奏の仕方を教えていただく。 各クラス5人ずつ、音の出し方を練習する。 各クラスの代表が、畑山さんの手信号による指揮に合わせて演奏する。 4 ボディパーカッションをする。 「さんぼ」の曲に合わせて2フレーズずつボディパーカッションを教 えていただき練習する。 ピアノ伴奏に合わせて、ボディパーカッションをする。 5 質問をする。 ・子どもたちから、他の楽器も演奏してほしいという要望があり、小太鼓・ ボンゴ・コンガ・タンバリンの演奏をしていただいた。 
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな音を聴きわくわくした。 ・人間技ではないと思った。 ・音が変わるのがおもしろかった。 ・サンドペーパーがおもしろかった。 ・いろいろな物から楽器ができるのが不思議だと思った。 ・みんなのことを思い、気持ちをこめて演奏してくれた。 ・タンバリンでもいろいろな使い方があると思った。 ・畑山さんはやさしい。分かりやすかった。 ・大人になったら、理馨子さんのようになりたい。また、聞きたい。
教師の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れは良かった。 ・打楽器の楽しさに直に触れることができた。 ・今後の授業にも活用できる内容だった。生の演奏を聴くことができ、教師も児童も感動した。 ・あこがれる児童もおり、キャリア教育としても意味がある。

